

(第2号様式)

普天間第 2453号
平成31年3月4日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立普天間高等学校
校長 久場 政彦

平成30年度県立普天間高等学校学校評議員について(報告)

平成31年1月8日付け教県第2043号により依頼のありました、みだしのことについて下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	平成30年6月20日 16:00～17:00	場所	普天間高等学校小会議室	出席 状況	4名
第2回	日時	平成30年11月28日 16:00～17:00	場所	普天間高等学校小会議室	出席 状況	4名
第3回	日時	平成31年2月26日 16:00～17:00	場所	普天間高等学校小会議室	出席 状況	4名

2 学校評議員に求めた事項

- (1) 学校経営方針
- (2) 学籍・学習状況・学校状況等
- (3) 進路指導方針
- (4) 生徒指導方針

3 学校評議員の意見

- (1) 普天間高校には、数年前までは別室登校の生徒がいなかったと思うが、今回の報告では増えてきている。別室登校の生徒についても、大切に育てていって欲しい。
- (2) 小・中学校でも不登校の子どもたちが増えている。自分をコントロールする力が弱くなってきていることもあり、高校に入るといろいろなプレッシャーに負けてしまう。小中学校でのケアが高校に繋がる。自分を知る、理解することが大切。
- (3) 学校評価アンケートの集計から、学校への評価が下がってきているというのは、普天間高校に対する保護者の評価や期待が高くなっているということではないか。
- (4) PTAの集まりの中でも感じることは、年々、保護者の学校への関心が高まってきているということである。
- (5) 総合学習における生徒同士の面接練習は良い取り組みである。面接にあたっては、どんな質問がくるのか緊張を経験する。同級生・先輩・後輩など、いろいろな事をいろいろな人たちから話を聞く。自分が興味あるものを探していくことで自分を知ることができると思う。また、この際相手の目を見て話せるのか、自分のことばで話せるのかはとても大切である。
- (6) 普天間高校のレベルがこれだけ上がってきていると、職員の負担も大変だと思う。今までの取り組み、新しい取り組みも行いつつ、職員の精神面、心の健康も大切にしてほしい。
- (12) 今日をもって評議員3年の任期を終えるが、今後とも生徒のために職員一丸となって頑張ってもらいたい。

4 学校運営に反映した事項

- (1) 生徒及び職員の激励
- (2) 特別支援を要する生徒に対して、教育機器を配備する取り組み支援。
- (3) 別室当校生徒に対する支援体制の充実。

5 課題その他

- (1) 文武両道の実践。
- (2) 教員の働き方改革に関する取り組み。
- (3) 学力向上指定研究の取り組み充実。
- (4) 保護者に対して、学校の各種取り組みの効率的な発信。